



吹田市議会議員

か み や ソ ウ ヘ イ

神 谷 宗 幣

ご挨拶

昨年4月に市議会議員に当選した当初は、無所属の一人会派でやっていけるであろうかと、不安一杯で議員活動をスタートしました。しかし、教育問題を中心に据え、若者の意識を変えていこうという私の思いに、多くの方々が賛同してくださり、協力していただけるようになりました。まだ、たった8ヶ月の任期ですが、その間に沢山の仲間ができて、皆さんに支えていただきながら「意を強くして」、日々活動に励んでいます。今年で活動も2年目に入ります。仕事にも少しずつ慣れてきて気が緩みがちな時期に入ると思いますので、しっかりと自分を律しながら、「初心を忘れずに」市民の代弁者として公務に精進致します。皆様からのご意見やご指摘がありましたら、より気持ちも引き締まりますので、御協力をよろしくお願い致します。



ホームページは活動報告や雑感などを載せ、毎週更新しております。

そのほか、学校訪問ブログや月1回更新のアンケートなども実施しており、皆様からのご意見もお寄せいただけるようにしておりますので、是非一度のぞいてみて下さい。

<http://www.kamiyasoei.jp>



12月議会(12/6～12/26)での一般質問

【問い】 子供達が親から放置されている市内の現状を耳にする。家庭にも学校にも地域にも居場所のない青少年、寂しい思いをしながら必死で自分達の存在を主張する彼らの話を聞いてあげられる人や場所が必要ではないかと考えるが、その前提として市の方では、そのような青少年が、市内にどれほどいるのか把握できているのか。

もし、現状の把握ができていないということであれば、まず、学校と警察が連携し、親の保護が不十分であると考えられる子供の実態を把握すべきではないかと思う。そして、その実態を市民に知らせ、市民の協力を仰ぎながら、行政が子供らの頼れる場所のみを提供し、民間のボランティアの方々に、行き場のない子供達の相手をしてもらうような制度が作れないか検討してもらいたい。

【答弁】 家庭にも学校にも居場所がない青少年が増えてきていることは認識しているが、数的な把握はできていないのが現状。議員ご指摘の様々な課題を持ち問題行動を取りがちな青少年の現状把握と対策については、地域で青少年育成に関わる事業を進めておられる青少年対策委員会等の地域ボランティアの活動を通して進めていく。

(他の質問は裏面をご覧ください)

吹田市の中学校給食の計画(12月議会答弁より)！！

「食堂方式」と「デリバリー方式」を検討した結果、平成21年1月より、デリバリー方式で年次的に実施していく方向(当初は3校で実施を予定)となった。デリバリー方式とは、献立の作成は市が行って、給食の調理・配送、食器の回収・洗浄・保管を業者に委託するもので、デリバリー給食にするか、家庭からのお弁当にするかは生徒自信が選択できるようにするもの(事前にインターネット等から注文できる)。今での家庭の手作り弁当の大切さを大事にしながら、一方では食の安全を確保するため、食材の選定基準や調理衛生管理基準を定め、市の指導の下で給食を作る体制をとる。

神谷 宗幣(かみや ソウヘイ)： 昭和52年 福井県大飯郡高浜町生まれ

福井県立若狭高等学校卒。関西大学在学中に1年間海外をまわり、自分を含めた今の日本の若者はこれでいいのか、と疑問を抱く。大学卒業後、高校教師の経験を経て関西大学法科大学院へ進学し、平成19年3月卒業後、4月の地方統一選挙で吹田市議会議員に初当選。

「変えよう！若者の意識」をキャッチフレーズに、吹田市の教育の充実を目指し活動中！

【質問】 平成19年11月に出版された「性教育の暴走」(桜井裕子著)という本に、過去の吹田市の過激な性教育についての詳細な記述があり、読んでショックを受けた。本に書かれていることは、実際にあったことなのか。今後同じような教育が行われる恐れはないか。今後の市の性教育の方針は？

【答弁】 著書「性教育の暴走」の記述内容は、大筋記述のとおり。今後の性に関する教育については、「社会的に未成熟な青少年の性行為は適切でない」という基本的な考えに立ち、この点について、認識を確かなものにし、道徳教育との関連を密にしながらい児童生徒の指導にあたるよう取り組んでいく。

【質問】 平成23年春から小学校5、6年生を対象に「英語活動」の授業が全国一斉に開始される。中途半端な英語活動ならやらない方がよい。やる以上は、他市の取組みなども参考にし、英語専科の教員を配置するなどして、戦略的かつ効果的に行うべきだと考える。市の取り組みと今後の方針は？

【答弁】 昨年度より、小学校で英語活動を実施しており、小学校6年生の全クラスを対象に、年間10時間の英語指導助手を配置し、英語活動の推進に当たっている。また、担任が中心的な役割を果たせるよう、各小学校英語担当者の研修および、指導法について中心的な役割を担うリーダー養成研修を計画的に実施している。小学校への英語科専科の教員の配置については、現在の各校での取組を検証し、今後の研究課題としていく。

12月議会(12/6～12/26)での一般質問の要旨

【質問】 マンション等の建て替え工事が市内各所で始まることが想定されるが、そうした工事が子供の通学路などにかかった場合の子供の安全確保が今後の課題になる。その際に各学校が個別に工事業者等に対応していたのでは負担が大きい。工事などの情報が入った際には、学校管理者が迷うことなく対応でき、情報の一元化もできる体制を構築しておくべき。この点に関しての市側の対応は？

【答弁】 一定規模以上の開発工事を行う場合は、教育委員会の要請に基づいて都市整備部が、当該開発事業区域を校区とする小学校、中学校の校長に対し、工事着手前に工期、安全対策等の説明を行うよう、事前協議時に事業者へ指導を行っている。その際、通学路に関わる安全対策等について、学校と事業者の間で問題が生じた場合は、学校の相談を受け、庁内関係部局と連携の下、解決に向けて事業者へ働きかけるシステムを構築している。

【質問】 現在竹見台地区で児童生徒数が著しく減少して学校運営にマイナスの影響も出ている。児童数の減少には住宅問題も関係していると考えるが、今後市の方で公団や関係機関と協議し、住宅問題と少子化の現状改善に努めるべきではないか。

また、今後大型マンションの建設等があり、学校を新設しなければならない地域で、同じ問題が発生しないように、学校建設においては、将来校舎が余ってくるような場合も想定し、空き教室を地域住民の交流や高齢者の介護などに転用できるような将来性ある複合施設として計画しておく必要があると考える。行政側の見解と具体的な計画は？

【答弁】 竹見台地区の住宅計画が、本住区の人口構成に大きな影響を与えることは認識している。今後は、同住区、あるいは千里ニュータウン全体の少子化のみならず高齢化に関する課題について、「千里ニュータウン再生連絡協議会」の場を活用しながら住宅事業者と協議していく。

施設の効果的な利用という観点から、また、財政面からも、議員ご提言の、学校を新設する場合には、その後の転用も視野に入れて計画することは、有効な方策であるから、教育委員会をはじめ、関係部局と連携を図りながら、今後、研究・検討していく。

【質問】 近隣の市で、国旗・国歌の指導に関わる訴訟が継続しているが、市内の小中学校の入学式や卒業式の様子、及び、式典での不起立などの行為があった場合の教育委員会の対応などはどうなっているのか。また、国旗などにネガティブな感情を持っておられる方の主張される個人の「内心の自由」について、本市教育委員会としてはどのように考えているのか。

【答弁】 児童・生徒に対する国旗及び国歌の指導を行うに当たっては、学習指導要領に基づき、我が国の国旗と国歌の意義を理解させ、国旗・国歌を尊重する態度を育むよう指導している。教職員の起立については、一部教職員が不起立である現状もある。不起立の教職員につきましては、教育公務員としての自覚を持ち、自ら率先垂範するよう指導を徹底していく。なお、内心の自由については、思想良心の自由は、それが内心にとどまる限りにおいて、何人にも保証されなければなりません。しかし、児童生徒を学習指導要領に基づいて指導しなければならない教員が、卒業式・入学式で不起立という外部的行為となってあらわれる場合は、一定の合理的範囲内での制約を受けるものと認識している。

みなさまの声を代弁します。

市政への要望・不満、行政への質問など、何でもお気軽にどうぞー

自 宅 : 〒565-0821 吹田市山田東4-41 5-814号 電話・FAX 06-6567-8750
事務所 : 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 市役所3F 電話 06-6337-6928 (直通)
H P : <http://www.kamiyasohai.jp>
MAIL : info@kamiyasohai.jp

